



岡山県

川井康弘設計室
川井 康弘

【作品名】
テンチコンゲンツクリノイエ

設 計	川井康弘設計室
施 工	株式会社 松建グループ
竣 工 日	2021年8月29日

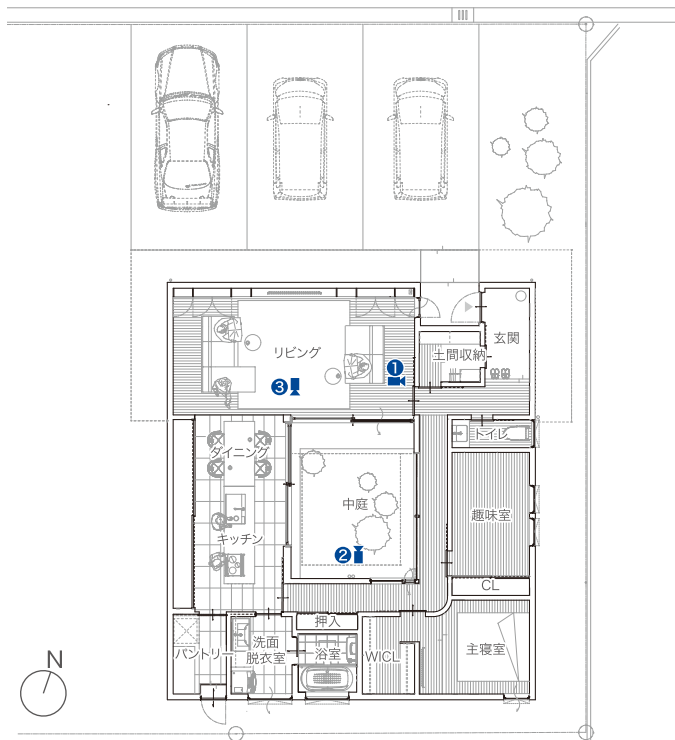
建物概要

建 設 地	岡山県倉敷市	延 床 面 積	95.11㎡
敷 地 面 積	528.68㎡	構 造・規 模	木造平屋建

設備面の特記

厨 房 機 器	IHクッキングヒーター
給 湯 機 器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



①リビングに入る夕日。右写真はかつての風景。



②部屋のどこからでも空を感じることでできる回廊形式の平屋。

③周囲の建物の窓の高さを調査し、どの位置からも中庭の開口が見えないように建物のボリュームを決定。軒高を低くし、圧迫感を少なくするとともにカーテンのない暮らしを実現。



設計コンセプト

計画地はもともと、高梁川河口の広い湿地・干潟であり、1848年児島味野村の野崎部左衛門により新田開発が行われ、田んぼが広がる広大な地域だった。今は住宅が立ち並び田んぼはほとんどみなくなったが、計画地の北側には大きな田んぼがあり、入母屋の農家住宅や蔵が建ち、かすかだが当時の雰囲気を感じる。

今回、平屋でかつカーテンのない暮らしがしたいという施主の要望を受け、田んぼの広がる原風景や農家住宅に敬意をはらい、茅葺き屋根の原型とも言え、周りに見通しの開口部のない天地根源造りをベースとした。天地根源造りは暖を取るため半地下になっているが、もともと湿地帯で水位も高いことを考慮して、GL[※]を地面から立ち上げ、その上に屋根を載せるフォルムとした。敷地の北側に広がる田んぼとの風景が茅葺き屋根を思わせ、歴史的ノスタルジーを感じ

させる。外周に見通しの開口部を作らず、中央に穴をつくり高梁川の河原をイメージした中庭と、額で切り取った空を部屋のどこからでも感じる事のできる、回廊形式の平屋を作った。そして周囲の気配や視線を気にせず、かつ明るく暖かみのある日常の中の非日常の暮らしを作ることができた。

※ GL…グラウンドレベル(地盤面の高さ)

審査委員講評

中庭プラン(口の字型)の家は往々にして他を寄せ付けない外観になることが多いのですが、この家は道路側のボリュームに切り妻屋根を載せることで見事にその雰囲気を一変させています。とくにプライバシー重視の要望が増える昨今、景観に配慮した設計に好感が持てます。内部空間の変化、強弱にもつながっていると思われます。